

REUTERS

ロイター銘柄レポート

オリジナル業種: 電話・通信  
 2018年7月13日作成

ソフトバンクグループ (9984)

【特色】日米で携帯通信事業を展開。傘下にヤフー、英ARM、10兆円ファンド。持分に中国アリババ

先週終値 **9,722円**      年初来 +8.99%      TOPIX 1730.07 (-4.81%)      コンセンサスレーティング **★★★★☆ (4.4)**

今週更新されたデータ: 業績推移(P1)



業績推移(連結)

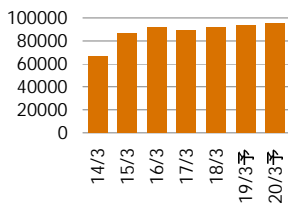
NEW 2018年 7月 12日

前週に比べ上方・下方修正された項目がハイライトされています。グラフの予想は東洋経済のデータを元に作成

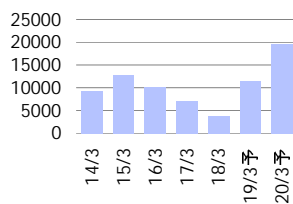
単位=百万円

	発表日	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	EPS(円)	1株配(円)	PER(倍)
18/03	5/9/2018	9,158,765	1,303,801	384,630	1,038,977	943.96	44	8.4
19/03								
会社予想(前回)	5/9/2018	---	---	---	---	---	44	---
東洋経済	5/29/2018	9,350,000	1,150,000	1,150,000	690,000	626.9	44	15.5
コンセンサス(前回)	7/12/2018	9,342,843	1,260,839	1,062,323	635,013	611.15	44.44	16.9
	7/5/2018	9,329,218	1,225,780	1,062,323	635,013	611.15	44.44	14.2
20/03								
東洋経済	5/29/2018	9,490,000	1,260,000	1,970,000	1,550,000	1408.2	44	6.9
コンセンサス	7/12/2018	9,511,220	1,307,983	2,188,791	1,617,804	1472.4	44.33	6.6

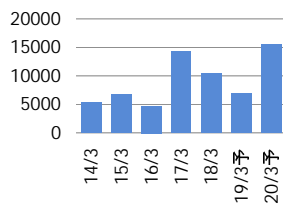
売上高(億円)



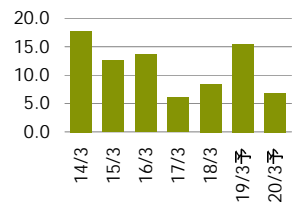
経常利益(億円)



当期利益(億円)



PER



四半期の業績

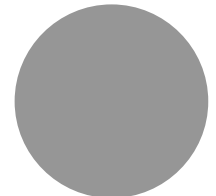
2018年 5月 9日

単位=百万円

四半期	発表日	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
18/03 3Q	2/7/2018	2,400,139	273,990	344,783	912,322
18/03 4Q	5/9/2018	2,347,491	154,972	-179,174	24,033
	(前四半期比)	-2.2%	-43.4%	赤字転落	-97.4%

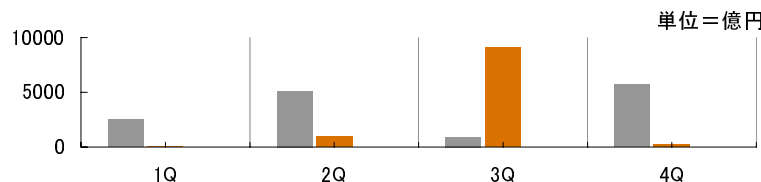
今期会社計画に対する売上高達成率

0%



四半期の当期利益

■ 17年03月期  
 ■ 18年03月期  
 ■ 19年03月期



REUTERS

ロイター銘柄レポート

オリジナル業種: 電話・通信  
2018年7月13日作成

ソフトバンクグループ (9984)

コンセンサスレーティング ★★★★★ (4.4)

【特色】日米で携帯通信事業を展開。傘下にヤフー、英ARM、10兆円ファンド。持分に中国アリババ

スーパー業績診断

2018年7月13日

**成長性の分析** 売上高の伸びはおおむね順調でしたが、やや不安定な年度もあります。今期の売上高の伸びは他社平均よりもやや高くなるのが期待されます。今後の売上高の伸びは現在と大きな変更は予想されません。

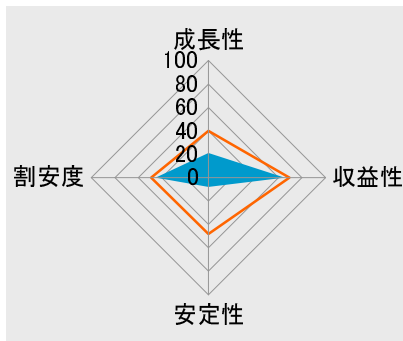
**収益性の分析** 良 過去の収益率は一定の水準を保ち非常に安定しています。今期の収益率は他社と比べても非常に高いものと推察されます。今後の収益性は現在と大きな変更は予想されません。

比較分析

2018年7月13日

上場全3711社対比

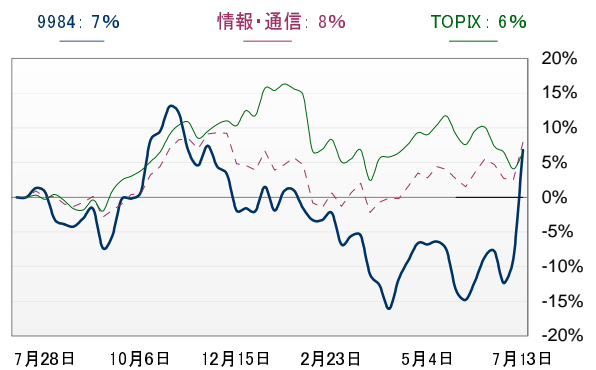
成長性 = 21点  
(同業種平均 = 40点)  
収益性 = 65点  
(同業種平均 = 69点)  
安定性 = 8点  
(同業種平均 = 48点)  
割安度 = 45点  
(同業種平均 = 49点)  
得点(1~100点) = 35点  
—— 同業種平均



※上記のグラフはページ3の点線枠内のデータを元に作成されています

52週間TOPIX・業種相対比較

2018年7月13日

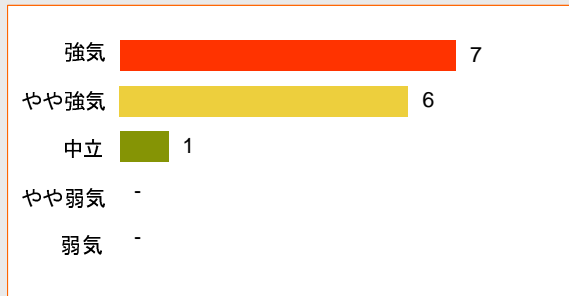


ロイター コンセンサス レーティング

2018年7月13日

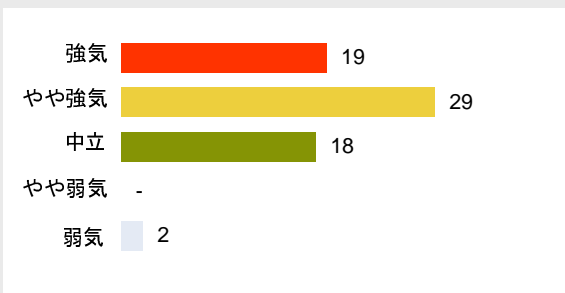
ソフトバンクグループ (9984)

コンセンサスは横ばい。 平均スコア: 4.4

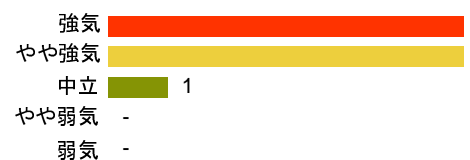


オリジナル業種分類 電話・通信業全体 (7社)

コンセンサスは横ばい。 平均スコア: 3.9



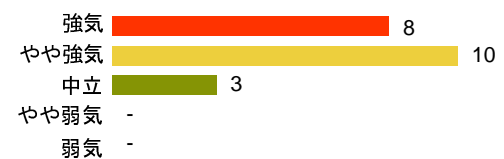
1週間前 平均スコア: 4.4



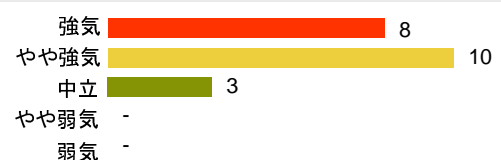
1ヶ月前 平均スコア: 4.3



3ヶ月前 平均スコア:



6ヶ月前 平均スコア:



REUTERS

ロイター銘柄レポート

2018年7月13日作成  
オリジナル業種: 電話・通信

ソフトバンクグループ (9984)

コンセンサスレーティング ★★★★★ (4.4)

【特色】日米で携帯通信事業を展開。傘下にヤフー、英ARM、10兆円ファンド。持分に中国アリババ

同業種比較

各指標のランクは電話・通信業全7社との比較によるものです。またページ内の5社と比較して最も数値が高い項目はフォントが赤く表示されます。

		ソフトBG(9984)	NTT(9432)	ドコモ(9437)	KDDI(9433)	沖縄セルラ(9436)	同業種平均	
上場全銘柄比較	総合点							
	成長性 得点	21点 (△0)	31点 (△0)	28点 (△0)	<b>47点</b> (△0)	34点 (△0)	40点 (△0)	
	収益性 得点	65点 (△0)	72点 (△0)	85点 (△0)	<b>90点</b> (△0)	85点 (△0)	69点 (△0)	
	安定性 得点	8点 (△0)	33点 (△0)	71点 (△0)	47点 (△0)	<b>94点</b> (△0)	48点 (△0)	
	割安度 得点	45点 (▼6)	<b>71点</b> (▼1)	52点 (△1)	58点 (△0)	59点 (△1)	49点 (▼1)	
株価	先週終値	9,722円	5,119円	2,823.5円	3,142円	4,335円	3,742円	
	年初来	8.99%	-3.43%	6.11%	12.03%	5.60%	10.96%	
	コンセンサス・レーティング	★★★★☆(4.4)	★★★★☆(4.1)	★★★☆☆(3.4)	★★★★☆(3.9)	★★★★☆(4.0)	★★★★☆(4.0)	
同業種比較	売上高(予) (百万円)	9,350,000 (2位)	<b>11,870,000</b> (1位)	4,796,000 (4位)	5,150,000 (3位)	66,000 (5位)	4,469,786	
	営業利益(予) (百万円)	1,150,000 (2位)	<b>1,700,000</b> (1位)	992,000 (4位)	1,022,000 (3位)	12,700 (5位)	697,114	
	経常利益(予) (百万円)	1,150,000 (2位)	<b>1,691,000</b> (1位)	997,000 (4位)	1,015,000 (3位)	12,700 (5位)	695,557	
	当期利益(予) (百万円)	690,000 (3位)	<b>883,000</b> (1位)	696,000 (2位)	621,000 (4位)	8,800 (5位)	414,383	
	配当利回り率(予)	0.45% (6位)	3.32% (2位)	<b>3.90%</b> (1位)	3.18% (3位)	2.86% (4位)	2.31%	
	時価総額 (百万円)	10,700,616 (2位)	<b>10,731,440</b> (1位)	10,679,321 (3位)	7,955,556 (4位)	118,527 (5位)	5,747,895	
	成長性	売上高成長率(予)	<b>2.1%</b> 3位	0.6% 6位	0.6% 6位	2.1% 3位	1.3% 5位	1.3%
		営業利益成長率(予)	-11.8% 7位	3.5% 4位	1.9% 6位	<b>6.1%</b> 3位	2.0% 5位	-0.3%
		EPS成長率(予)	-33.6% 7位	-2.9% 5位	-6.5% 6位	<b>10.8%</b> 1位	1.8% 3位	-11.4%
	収益性	営業利益率(予)	12.3% 5位	14.3% 4位	<b>20.7%</b> 1位	19.8% 2位	19.2% 3位	9.3%
		ROE(予)	13.3% 3位	9.3% 6位	12.3% 4位	<b>16.5%</b> 2位	11.8% 5位	12.0%
		ROA(予)	3.7% 6位	7.8% 5位	12.8% 3位	<b>15.5%</b> 1位	14.0% 2位	4.3%
	安定性	流動比率(実)	102.2% 7位	126.6% 6位	203.3% 2位	149.6% 5位	<b>439.2%</b> 1位	192.0%
		自己資本比率	16.6% 7位	43.8% 4位	73.3% 2位	57.4% 3位	<b>82.3%</b> 1位	50.4%
		有子負債比率	329.0% 7位	41.0% 6位	3.0% 2位	27.0% 5位	<b>0.0%</b> 1位	62.1%
割安度	PER(予)	15.5 6位	<b>12.2</b> 1位	15.3 5位	12.8 2位	13.5 4位	13.9	
	PBR(予)	2.1 4位	<b>1.1</b> 1位	1.9 3位	2.1 5位	1.6 2位	1.7	
	EV/EBITDA(予)	8.9 6位	<b>4.5</b> 1位	6.8 5位	5.6 2位	6.2 4位	33.9	
		ソフトBG(9984)	NTT(9432)	ドコモ(9437)	KDDI(9433)	沖縄セルラ(9436)	同業種平均	

REUTERS

ロイター銘柄レポート

2018年7月13日作  
オリジナル業種: 電話・通信

ソフトバンクグループ (9984)

コンセンサス  
レーティング ★★★★★ (4.4)

【特色】日米で携帯通信事業を展開。傘下にヤフー、英ARM、10兆円ファンド。持分に中国アリババ

四季報速報

2018年5月10日更新

【ソフトバンクG<9984> ソフトバンク孫社長、米国携帯合併の「本音」(中)】

ただ、Tモバイルの親会社、ドイツテレコムとの交渉がなかなかまとまらなかったのは、ソフトバンクグループ側に経営権に対する強いこだわりがあったためだ。

わずか半年前、前回の交渉が破談になった直後の中間決算会見で孫社長は、「スプリントは戦略的に重要な拠点で、経営権を手放してまで合併をすべきではない」とはっきり述べていた。経営権が大事な理由としては、米国市場の重要性のほか、米ワンウェブの衛星事業や、英アームのIoTチップなど、投資するグループ会社とのシナジー効果を挙げていた。

経営権を譲ることになった今回の合併の説明でも、孫氏は同じようにこうしたグループでのシナジーを強調。5Gの時代に力を発揮する周波数をスプリントとTモバイルが持っているとして、「足せば最強の組み合わせになる」と述べた。

■経営権を失うことは「小さな妥協」

今回、経営権を失うことで描いてきた米国市場での絵はどう変わるのかについては、何も説明はなかった。そのうえ、孫社長は「統合で得られるシナジー、得られる戦いのポジションは非常に大きい」として、あれだけこだわった経営権を「大きな成果の前には小さな妥協はいいと飲み込んだ」とまで述べた。

ほかにも孫社長は「以前は買収して完全にコントロールを取りたい、そのために(取得しようとしていた株式に対する)プレミアムを30~40%取る、というところで交渉をしていた。でも逆に、プレミアム30~40%を払う側から受け取る側になった。経済的な面でいくと悪くない」とも話した。

だが、前回の破談時には、ドイツテレコムのティモテウス・ヘットゲスCEOに対して「株の売却金額など細かい条件面ではなく、経営権という根幹に関わるからだからなしにしよう」と伝えている。交渉再開後に条件の上積みがあったとしても、それは「細かい条件」であったはずで、今回の決断との整合性が取れない。

結局、孫社長が翻意した理由のほとんどは、自らの関心の移り変わりと、それに伴うソフトバンクグループの会社としての性格の変化にありそうだ。前回の破談時から今回の合意までにあった大きな動きは、国内携帯事業会社のソフトバンクの上場準備の発表だった。

(奥田 貴)

会社概要	企業概況	株主構成																				
<p>【住所】 東京都港区東新橋1-9-1 【電話】 03-6889-2000 【URL】 <a href="https://www.softbank.jp/">https://www.softbank.jp/</a> 【従業員数】 74,952人(連) 【会長・社長】 孫 正義 【公開】 1994年07月 【平均年収】 - 【設立】 1981年09月 【平均年齢】 -</p>	<p>【特色】日米で携帯通信事業を展開。傘下にヤフー、英ARM、10兆円ファンド。持分に中国アリババ</p> <p>【高水準】国内通信は販促費一服、端末値引きや割安プランの適用減り採算改善。スプリントはコスト削減で改善続く。ファンドとアリババ株デリバティブ損益見込まず。米減税効果6850億円剥落し純益減。</p> <p>【米携帯統合】19年半ばメドにスプリントとTモバイルUSの統合で合意。持株比率27.4%で取引完了後に連結対象から除外予定。国内携帯会社を年度内に上場方針。</p>	<p>【株主】【単】198,405名&lt;18/3&gt; 万株(%)</p> <table border="1"> <tr><td>1) 孫正義</td><td>23,120 (21.0)</td></tr> <tr><td>2) 日本マスター信託口</td><td>9,158 (8.3)</td></tr> <tr><td>3) 日本トラステイ信託口</td><td>6,385 (5.8)</td></tr> <tr><td>4) JPモルガン・チェース・バンク</td><td>4,484 (4.0)</td></tr> <tr><td>5) 日本トラステイ信託口5</td><td>1,697 (1.5)</td></tr> <tr><td>6) ステートストリートBウエス</td><td>1,491 (1.3)</td></tr> <tr><td>7) 日本TS信託口1</td><td>1,261 (1.1)</td></tr> <tr><td>8) CBNYデポジタリSH</td><td>1,260 (1.1)</td></tr> <tr><td>9) 日本TS信託口2</td><td>1,243 (1.1)</td></tr> <tr><td>10) JPMC385151</td><td>1,148 (1.0)</td></tr> </table> <p>&lt;外国&gt; 39.4% &lt;浮動株&gt; 6.7% &lt;投信&gt; 12.0% &lt;特定株&gt; 47.6%</p>	1) 孫正義	23,120 (21.0)	2) 日本マスター信託口	9,158 (8.3)	3) 日本トラステイ信託口	6,385 (5.8)	4) JPモルガン・チェース・バンク	4,484 (4.0)	5) 日本トラステイ信託口5	1,697 (1.5)	6) ステートストリートBウエス	1,491 (1.3)	7) 日本TS信託口1	1,261 (1.1)	8) CBNYデポジタリSH	1,260 (1.1)	9) 日本TS信託口2	1,243 (1.1)	10) JPMC385151	1,148 (1.0)
1) 孫正義	23,120 (21.0)																					
2) 日本マスター信託口	9,158 (8.3)																					
3) 日本トラステイ信託口	6,385 (5.8)																					
4) JPモルガン・チェース・バンク	4,484 (4.0)																					
5) 日本トラステイ信託口5	1,697 (1.5)																					
6) ステートストリートBウエス	1,491 (1.3)																					
7) 日本TS信託口1	1,261 (1.1)																					
8) CBNYデポジタリSH	1,260 (1.1)																					
9) 日本TS信託口2	1,243 (1.1)																					
10) JPMC385151	1,148 (1.0)																					
<p>連結事業のセグメント別売上比率 (2018/3)</p> <table border="1"> <tr><td>国内通信</td><td>35%</td></tr> <tr><td>スプリント</td><td>37%</td></tr> <tr><td>ヤフー</td><td>9%</td></tr> <tr><td>流通</td><td>15%</td></tr> <tr><td>アーム</td><td>10%</td></tr> <tr><td>他</td><td>10%</td></tr> </table>	国内通信	35%	スプリント	37%	ヤフー	9%	流通	15%	アーム	10%	他	10%										
国内通信	35%																					
スプリント	37%																					
ヤフー	9%																					
流通	15%																					
アーム	10%																					
他	10%																					

Copyright © 2016 Thomson Reuters. All rights reserved. ロイターから書面による事前承認を得ることなく、フレーミング又はこれらと同等の手段によりロイター・コンテンツをコピー、再出版、再配信又は引用することは禁止されています。ロイター(Reuters)及びロイターのロゴは、世界中のロイター・グループ各社の商標であり、かつ登録商標です。【ご注意】このレポートは、トムソン・ロイター・マーケティング株式会社(以下「ロイター」)が、東洋経済新報社、THOMSON REUTERS DATASCOPE SELECTより提供されるデータによって編集したものです。このレポートは、投資活動を勧誘又は誘引するものではなく、有価証券の「買い」または「売り」のオファーとして使用されてはならず、税金、投資又はその他のいかなる助言も提供するものではありません。このレポート及びレポートの情報に依拠するべきではありません。ロイターは、各個人投資家のそれぞれの事情に適合したアドバイスを提供することを目的としておりません。このレポートの使用は、資格のある投資専門家の投資助言に取って代わるものではありません。このレポートの情報は、一般的な信頼性があるものとされる情報源から得られた情報ですが、ロイターもその情報提供者ならびにこのレポートを讀者に提供する如何なる当事者も、このレポートの正確性又は完全性について保証するものではなく、また、情報提供中のエラー・欠損又は通信の中断・遅延及びこのレポートの使用から生じる一切の結果について、なんらの表明や保証を行うものでもありません。更に、このレポートの情報は時間の経過により不正確となる場合があり、従ってヒストリカル情報としてこのレポートに記載されている「ロイター コンセンサス 業績予想」ならびに「ロイターコンセンサス レーティング」を除く業績予想は、原則として東洋経済新報社「会社四季報」編集部が予想に基づきます。「ロイター コンセンサス レーティング」とは、ロイターが発表する「証券アナリストコンセンサス予想」を星の数であらわしたものです。強気をあらわすレーティング5(★★★★★)から、弱気をあらわすレーティング1(★)の範囲で表示されます。なお、レーティング情報のない銘柄は「-」または「(0.0)」と表示されます。このレポートの見方・使い方については、次のURLを参照ください。 <http://pr.reuters.com/investors/faq.html> レポート作成: FDG Global, Co. Ltd.